

目標達成計画

作成日: 令和 2年 9月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (15)	食事を楽しむ工夫として、皆と一緒に調理する日を決めて、まな板の音や香りを楽しみながら食事する事を望む。たこ焼き器を使ったベビーカステラなど手作りおやつも手軽で楽しいので、リクレーション感覚で楽しめる企画を期待する。	利用者様が興味を持ち、楽しめる簡単なことから始める。	法人内に綿菓子器があり、それを利用する。缶詰等を使いボールの中で混ぜて盛りつける等、たやすい事から始める。	10ヶ月
2	49 (18)	外出を増やして欲しいとの家族の声もあり、外出自粛の中でも、気分転換やストレス発散のためにも、できるだけ外出の機会を増やすことを望む。全員での外出は感染の危険が伴うので、個別に外出できるような工夫を期待する。	隣に公園があるので、外出したい人は出来るだけ希望に沿っていく。	リハビリに向けた時間を、外出と関連付け、利用者様の納得の元、安全に行なう。TVニュース等を参考検討し、地域に誤解のないように行う。	10ヶ月
3	4 (3)	今後は認知症に知見を有する人の参加も要請し、また、できるだけ詳しくて分かり易い議事録を作成して家族に配布し、事業所運営への理解と会議への参加を促進することを期待する。	地域包括支援センターから1名以上の参加を要請する。	議事録は家族様が来所された時、閲覧出来るように玄関に備えておく。包括支援センターとは密に連絡をとり、参加者を募らせていただく。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。